

「第28回法人会全国青年の集い秋田大会」報告書

青年部会長 大木栄二

第28回「法人会全国青年の集い」秋田大会が、11月20日（木）、21日（金）の両日開催されました。阿波麻植法人会からは、青年部会長の私と副部会長の西岡さんの二名が参加致しました。

「ユタカナ国へ あきた美じょん」というスローガンが掲げられました。「ユタカナ国」とは、豊富な経験を持った高齢者が生き生きと暮らし、我々青年世代がたくましく働き、子供たちの可能性を最大限引き出せる国であると考えられます。日本人として「美しい心」の継承こそが、ユタカナ国を体現できます。そして、ユタカナ国の礎となるのが「税」です。この国をユタカナ国とするため、互いの経験や思いを秋田に持ち寄り、真剣に議論いたしました。

大会第一日目には、租税教育活動プレゼンテーションが開催され、全国11局連の代表がプレゼンテーションを行いました。最優秀賞が広島局連の徳山周南（山口）法人会、優秀賞が名古屋局連の中津川（岐阜）法人会、東京局連の立川（東京）法人会でした。各局連とも、ユタカナ国の礎となる「税」のオピニオンリーダーの役目を果たし、租税教育活動の促進に尽力されているのが伝わってきました。我々、阿波麻植法人会においても参考になる点が多く、小学生に対する租税教室の出前授業だけでなく、さまざまな方法による租税教室活動の必要性を感じました。

大会二日目には、部会長サミット（円卓会議）が開催され、「法人会青年部10年後へ向けたアクションプラン」というテーマでディスカッションされ、ギネスにチャレンジ、租税演劇を全国に等、様々な提案や実例が発表されました。午後からは、大会式典が盛大に開催され、松尾沙樹さんのバイオリン演奏が式典に華を添えました。

その後の記念講演では、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏が「リーダーはいかにあるべきか～ユタカナ国・美しい心をつなぐために～」という演題で講演され、ご自身の体験談を交えたお話は、人を思いやる優しいお気持ちがひしひしと伝わって来て、我々青年経済人にとって大変参考になる感動的なものだったと思います。

今回、青年部会長として二度目の「全国青年の集い」でしたが、この大会で学んだことを日頃の青年活動等に活かしていきたいと思います。

今後とも阿波麻植法人会青年部会をよろしくお願いします。



〔会場〕秋田市 秋田県民会館、秋田キャッスルホテル

〔参加人員〕2,148名

「ユタカナ国へ あきた美じょん」

大会会長 阿部 大助

実行委員長 進藤 文仁

大会式典(13:15～15:00)

国歌斉唱 来賓紹介 主催者・主管者紹介 歓迎の言葉

主催者挨拶 来賓祝辞

平成25年度青年部会員増強運動表彰

租税教育活動プレゼンテーション結果発表・表彰

租税教育活動最優秀会の事例発表〈徳山周南法人会〉

秋田大会宣言

大会旗伝達

次回開催地(茨城)PR

記念講演(15:30～16:40)

講師 橋本 五郎 氏

演題 『リーダーはいかにあるべきか』～ユタカナ国・美しい心をつなぐために～

部会長サミット(9:00～11:40)

円卓会議

ファシリテーター 佐藤 裕之 氏

テーマ 「法人会青年部会 10年後へ向けたアクションプラン」

租税教育活動展示紹介

懇親会(17:30～19:00)

